



# 高校生チャレンジ留学 ～HYOGO高校生「海外武者修行」応援プロジェクト～ ご報告2024



# 高校生チャレンジ留学

～HYOGO高校生「海外武者修行」応援プロジェクト～

## プロジェクト概要

人口減少・少子化が進む中、重要となる“**個の力**”。

留学先で個々の学びを深めるためにチャレンジする高校生を、**県が官民協働で支援し**、兵庫で学び、グローバルな視点・能力を持ち**国際的に活躍する若者の育成**につなげるプロジェクト。

### 令和6年度の概要

○期 間 約1か月

○補助人数 10名

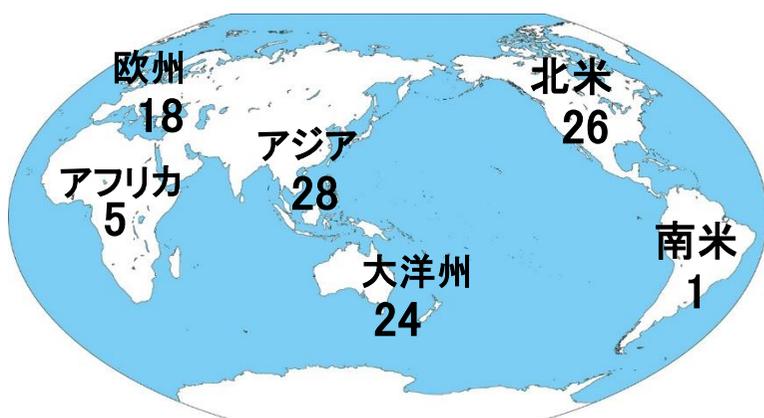
○補助金額 50万円/人(上限)

○対象者 県内の国公立の高等学校等に在籍している高校生

## R6年度の募集結果

最終応募人数 **102人** ( 設置種別内訳 公立:56 私立:36 国立:10  
学年別内訳 一年:25 二年:57 三年:20 )

### 地域別内訳



### 分野別内訳



- 4月2日から5月10日まで募集し、合計102人の高校生から応募がありました。
- その内訳を留学先地域別に見ると、英語圏である北米等にとどまらず、アフリカや南米といった地域を希望する高校生もいました(左上図)。
- また、分野別では、ボランティア活動に参加する社会貢献分野が最も多く、さらに、芸術、スポーツ、地域産業やビジネスと、幅広く応募がありました(右上図)。

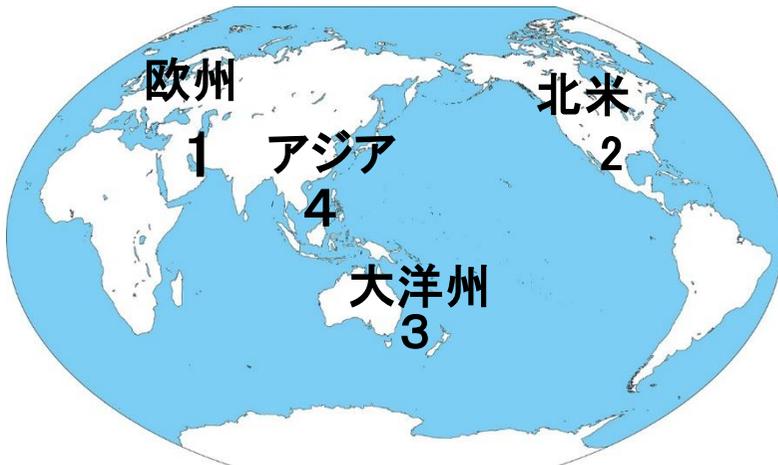
# R6年度の選考結果

最終選考人数

10人

〔 設置種別内訳 公立:6 私立:4  
 学年別内訳 一年:4 二年:5 三年:1 〕

## 地域別内訳



## 分野別内訳



- 応募総数102名、いずれも、それぞれの高校生の思いのこもった素晴らしい留学計画でした。
- その中から書類選考、面接の結果、チャレンジ精神あふれる10名を選考しました。

## 選考された10人の留学計画

分野	学校	学年	留学先	留学計画
社会貢献	私	2	フィリピン	貧困、教育事情等SDGs諸課題について現地大学生とフィールドワークし、ディスカッション。国際的視点を身に付ける
	公	2	フィジー	海洋環境ボランティアに参加。また現地小学校を訪問し環境教育を実践。現地の方々の環境意識や活動について幅広く調査する
	公	2	フィリピン	都市部の病院や医療アクセス困難地でボランティアやワークショップに参加。外国の専門医療や途上国医療の現場を体験する
	公	2	カナダ	世界トップレベルの病院の院内学級でボランティア。医療の現場で患児を心理面から支援する専門職について探求する
スポーツ	公	2	ニュージーランド	ラグビーの強豪校の練習に参加。世界トップレベルのチームで技術と高い人間性を学ぶとともに英語力を高める
	私	3	カナダ	世界一のバイクパークでマウンテンバイクを練習。多彩で長大なコースで技術を磨くとともに、県内コース整備のためのヒントを得る
ビジネス	公	1	オーストラリア	フローリストのフラワーショップで職業体験やインタビュー。環境に配慮したフラワービジネスを現場で学ぶ
	公	1	ベルギー	日本でも有名なチョコレート職人の工房で研修。本場の知識・技術を現場で学ぶとともに、仏語力を高める
芸術	私	1	韓国	K-POP本場の最高峰のスタジオでプロダンサーレッスンを受講。また、大学や専門学校で文化、韓国語、ボーカル、メイク等を学ぶ
地域産業	私	1	シンガポール オーストラリア	最新技術を導入した養殖漁業施設や大学などを訪問しインタビュー。高度な技術や環境への取組を体感し、漁業の将来について考える

## キックオフイベント

- 令和6年6月23日(日)に兵庫国際交流会館にて、留学前のキックオフイベントを開催しました。
- 選考された高校生やそれぞれの留学の活動内容に精通したアドバイザー、兵庫県内の大学に留学中の外国人留学生等にお集まりいただきました。
- イベント中は参加者同士、活発な意見交換が行われ、交流を深めていました。



留学計画・フィールドパビリオン体験発表



アドバイザー等との意見交換会



JICA関西（フィールドパビリオン体験）



人と防災未来センター（フィールドパビリオン体験）

## 帰国後報告会

- 令和6年10月27日(日)に兵庫国際交流会館にて、帰国後報告会を開催しました。
- 留学から帰国した高校生やご寄附をいただいた企業・団体の皆様、アドバイザー、外国人留学生、当プロジェクトにご協力いただいた方々にお集まりいただきました。



留学成果発表



ご寄附をいただいた企業の皆様、アドバイザー等と高校生の交流会

# それぞれの留学を通じて

## もう1つの、別の世界のラグビーを知れた



ニュージーランド

ラグビー



### ラグビー強豪校のチームに参加

日本でラグビーって、競技人口も多くはないし、面白さがやっぱりまだ世間には伝わりきっていないのかなと思って、「ラグビーをどうみんなに楽しかって知ってもらえるかな」って考えたときに、やっぱりラグビーがポピュラーな国、栄えている国でラグビーをすることが、自分にとっていい経験になるのではないかなと思っていました。

ラグビー大国のニュージーランド、実際どのくらいラグビーが普及してるのかなと思っていたら、僕が予想していたよりも根付いていました。公園にはラグビーのポールが立っているし、通っていた学校では、昼休みになると学生が広場でラグビーを始める。日本でもここまで盛り上がったら、面白いだろうなと思いました。国が違うだけで、楽しみ方も全然違う。日本では、ラグビーは部活やプロでやることが多いですが、ニュージーランドでは遊びでしていたりとか。もう1つの、別のラグビーの世界を知れたことがよかったです。

## 技術だけじゃない、「ダンスに対する考え方」も変わった



韓国

ダンス



### K-POP最高峰のダンススタジオでレッスン

韓国の授賞式を見に行ったときに、すごく圧倒されて。韓国アイドルのダンスの、激しくて、実力、表現力が重視される実力主義なパフォーマンスに、すごく惹かれました。韓国では、ダンススタジオでレッスンを受けて、現地のオーディションにたくさん挑戦したいと思いました。

行く前までは「技術を磨かないと」とっていう部分がすごく自分の中ではあったのですが、「やらないと」とって思っていることが全部顔に出ているよとスタジオの先生に言われて。「レッスンでも自分が楽しまないと、全部表情に出てしまう」と思いました。その後は振りを覚えないと、こうしないと、ということよりも音楽を聴いてちゃんとリズムをとって楽しむことを心がけました。今回留学に行ってみて、技術的な成長もですが、ダンスに対する考え方もすごく変わりました。

## 「してあげる」じゃなくて「一緒に良くしていく」



フィリピン

SDG s



### SDGs課題のフィールドワーク

いわゆる発展途上国支援というと、「してあげる」という印象だったのですが、実際は違いました。現地の皆さんも私たちのことを楽しませようとしてくれるし、子供たちと遊んだりしているうちに「してあげる」じゃなくて「一緒に良くしていく」ということなんだなと感じました。

今回留学へ行ってみて、私という人間が現地に行って実際に会ってしゃべってみるからこそ、いろんな人といろんな話が出てくるのだなと思いました。私がつたない英語で一所懸命話そうとするからかもしれないですが、向こう側もこの日本人にこういうことをわかってほしい、こういうことを深く考えてほしいと思って話してくれる。そういう内容はネットや本で得た情報とは違って、私の一部になった体感があります。今回のそういった経験のおかげで、自分が進みたい道の1つである、国際支援の具体的な将来の展望を持たた気がします。フィリピンで今回会ったような人たちと一緒に仕事できることってすごい楽しいだろうなと。現地に行かなかつたら今の自分はなかつたなと思います。

## 海洋環境ボランティアに参加 現地の環境意識や活動を幅広く調査



### 海洋環境ボランティア

フィジー

マングローブ林の植林活動からサメ保護活動、生態系調査などの海洋環境保護ボランティアを行いました。また、語学学校のクラスメイトと教会に集まる子供たちに紙芝居を通じて、森から海へとつながる環境の話を伝える活動を行うなど、現地の環境教育にも取り組みました。

フィジーでは、多くの人にとって、いまだごみ問題への意識が向いていません。根付いた文化と、文明の発展によるズレを考慮した、根本からの意識の改革が必要であると感じました。日本でも、子どもが環境問題に興味を持つことを当たり前にして、ごみ問題の重要性を伝えていきたいです。

## 世界一のバイクパークで マウンテンバイクを練習



### マウンテンバイク

カナダ

日本にはバイクパーク自体が少なく、1つのパークに3個ほどしかコースがありませんが、ウイスラーバイクパークには、100個ほどのコースがあり、練習したいことが全部、1日でできてしまうという環境でした。本場のバイクパークは、長さ、コースの多さ、安全面で日本とは段違いでした。リフトで乗り合わせた人達に片言ながらも積極的に話しかけることで、様々な国のマウンテンバイカーの友達ができました。その人たちと一緒に走りましたが、速さ、テクニックなど、世界のレベルの高さを実感しました。将来は、スポーツトレーナーになって自転車業界に貢献したいと思っています。また、カナダで学んだことを活かして、現在関わっている養父トレイルをはじめとして、安全なコースの整備にも取り組み、日本でもさらにマウンテンバイクを盛り上げていきたいです。

## 外国の専門医療や 途上国医療の現場を体験



### 医療ボランティア

フィリピン

1つのベッドに2人の患者が寝ている、病院内の壁にひびがはいっていたり、雨漏りのバケツが置いてある…。フィリピンの医療の現状を目の当たりにしました。ボランティア活動では、リハビリテーションのお手伝い、NICUでの赤ちゃんのお世話、子供たちへの手洗い歯磨きのレクチャーなどを体験しました。フィリピンのリハビリテーションは、日本とは違い、アップテンポな音楽で明るく楽しく行う姿が印象的でした。

この留学を通じて、発展途上国で医療従事者として多くの患者さんの力になりたいという気持ちが一層強くなりました。

## 環境に配慮したフラワービジネスを学ぶ



### 環境に配慮したフラワービジネス

オーストラリア

今回の留学では、現地のフラワーショップでのインタビュー、現地で活躍する日本人フローリストのもとでの研修、専門学校でのフローリストコースの授業への参加の3つに取り組みました。インタビューでは、「ロスフラワー」と呼ばれる売れ残った花はブーケにしたり、近所に配ったりしているお店が多いことを知りました。

今後は、海外ファッション大学に留学し、華やかに思えるファッションやフラワーの世界にある廃棄の問題を勉強し、本当に美しいフラワーとファッションの世界を体験したいです。

## チョコレート職人の工房で修業



ベルギー

### チョコレート工房で学ぶ

今まで知らなかったベルギーのチョコレートの歴史や歴史的背景、材料、ベルギーのチョコレート屋事情、チョコレートワークショップではテンパリングやガナッシュ作りを学ぶことができました。

また、ホストファミリーの人たちにそれぞれの得意料理、ベルギーの伝統料理をフランス語で教えていただいたこと、現地で修業され、お店を持つショコラティエの方のアトリエを見学させていただいたことは、大切な経験となりました。

将来は、日本とベルギーを繋ぐことのできる仕事に就きたいと思っています。

## 世界トップレベルの病院の院内学級でボランティア



カナダ

### 院内学級ボランティア

自分自身の入院経験から、病院は暗いイメージがあり、小児医療における理想の病院環境について興味を持ちました。カナダは病院環境という点で日本よりも優れていると知り、この目で見て学びたいと思い、留学を決めました。

ベッド移動が可能なエレベーター、寝たきりでも入れるお風呂等があったり、病院の活動費のほとんどが寄附であるなど、現地での活動を通じ、様々な発見がありました。今すぐに日本の病院環境を変えたりすることはできませんが、日本ではまだ認知が少ない「子どもホスピス」や「CLS (チャイルド・ライフ・スペシャリスト)」など、カナダで学んだことを多くの人に伝えていきたいです。

## 漁業の未来を考える



### 環境保護に配慮した養殖漁業

シンガポール・オーストラリア

シンガポールでは、観賞用・食用魚の養殖場、オーストラリアのタスマニアでは、HUONというタスマニアを代表するサーモン養殖の会社や、タスマニア大学を訪問しました。

シンガポールでは、伝統的な観賞魚養殖の技術を生かしつつ、別の分野と融合させ陸上養殖を進化させていること、タスマニアでは、大学と政府が協力し、養殖技術や環境問題の解決に取り組んでいることを知りました。

今後も、地元兵庫の海を保全する活動を継続し、未来に誇れる海岸にしていきたいです。また、環境を保護しながら行う漁業を理想とし、タスマニアで学んだサーモン養殖技術など、日本でも応用可能な養殖技術のアイデアを提案できるよう、大学で学びたいです。

一年だけ  
武者修行  
HYOGO  
高校生チャレンジ留学

この度はご寄附いただきありがとうございました。この留学をきっかけに将来の夢が定まり、夢を実現するために努力しようと強く思うことができました。留学の経験を将来に活かし、兵庫に還元していきたいと思いを。



皆さまのおかげで、自分の力だけでは得られない体験をさせていただきました。1か月間の留学に加えて留学前・後の一貫した活動を通して唯一無二の経験が出来たと思います。ありがとうございました！

たくさんの方のご協力をいただき、夢だったカナダ留学を達成することができました。自分で行って学んだことはどれもとても貴重な経験で勉強になりました。小児医療の世界に貢献できるように目の前のことをまずは頑張っていきます。

この度は寄付をしていただきありがとうございました。初めての留学で不安なこともありましたが、とても充実した時間を過ごし、無事に帰ってこられたのは皆さまのおかげです。ここでの経験を活かしこれからも夢に向かって頑張ります。

## ご寄附いただいた皆様へ 高校生からのメッセージ



この度は寄附いただきありがとうございました。おかげさまで何物にも変え難い経験ができました。現地で知ったことを県やこれからのラグビー界に還元していきます。



本場のバイクパークで自転車漬けの毎日を過ごせたことで、帰国後すぐのレースで表彰台に乗り、最上位カテゴリーであるエリートクラスへ昇格できました。本場へ留学する機会を与えていただき、ありがとうございました。

今回、この機会をいただけた事でダンス・語学の物理的な面、また初海外生活経験を通して精神的な面で自身の成長と伸び代を感じる事が出来ました。本当にありがとうございました。私の人生の中で間違いなく大きな点として一生涯の思い出になるかと思っています。次の2期生の高校生たちにも同じ様な経験をしてほしいと願っています。今後も応援をよろしく願いいたします。

ご協力いただきとても充実した留学生活を送ることができました。今回の経験で得た学びと度胸でこれからもっとたくさんのことにチャレンジしていきたいと思いを。ありがとうございました。

(お問い合わせ先)

兵庫県産業労働部国際局国際課交流企画班  
e-mail : kokusaika@pref.hyogo.lg.jp